キャラクター名
天御門　一姫　（あまみかど　かずき）

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ブラックドッグ	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	16歳	性別	♀
覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	38 %
出自	名家の生まれ	経験	UGNへの畏怖	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	3			6
感覚	1	0	0			1
精神	4	0	0			4
社会	1	0	0			1

HP	36
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	3	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
神刀・湍津渡り	白兵	6r+3	G4	10		天門院家現当主の証。天門院家に代々伝わる神刀。持つものの女神の加護を与えるという。　妖刀（上-60）相当以倍に携帯
天門三女神刀	白兵	6r+3	G3	9		天門院家に代々伝わる三振りの刀。全て一振の神内に宿っている。　ハードワイアード：アームブレード相当以ガードしたら対象のガード値-3
		0				
天門神導流・刀使ノ形	白兵	6r+3	8	+28		相手のガード値-5。　コンセントレイト+マルチウェポン+ヴァリアブルウェポン コスト8

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
神刀・湍津渡り	
妖刀・鬼灯落とし	
懺刀・御首千切り	
命刀・落涙払い	
日用品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
伝承者《白兵》	P	N		
天御門志津絵	P　憧憬	N　恐怖		
幼馴染	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　8	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ノイマン	2	2	メジャー					
効果：C-LV　下限７								
マルチウェポン	1	3	メジャー	武器	対決	白兵		
効果：武器二つの攻撃力を合計する。　二刀流								
ヴァリアブルウェポン	1	3	メジャー	武器	対決	白兵		
効果：攻撃力+LV個分の武器の合計。100超えで四刀流。								
ハードワイアード	3		常時	至近	自身	自動		
効果：ブラックドッグ専用アイテムLV個取得								
勝利の女神	2	4	オート	視界	単体	自動	100	
効果：達成値を+【LV×３】判定の直後に使用。1ラウンド一回。								
神刀・湍津渡り	2							
効果：ユニークアイテム妖刀取得分の経験点20点								
ドクタードリトル	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果：どんな言語も喋れる。動物も可								
写真記憶	★		メジャー	至近	自身	自動		
効果：一度見た物は全て記憶できる。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

神代の時代より朝廷の影に控え、国の要である天門の地を代々守護してきた天御門家の第127代当主にして天門神導流第127代伝承者の少女。

この世に生を受けた時より天御門次期当主となるための教育を受けると同時に、全身を天御門の巫女として相応しく在る様に
天御門家に代々伝わる様々な陰陽の秘術によって弄繰り回されており、天門三女神刀を初めとした人の身には余る禍神の力をその身に宿している。
普段は普通に学校に通いながら天御門の実家である天門神社の巫女もしており、地元では美少女女子高生巫女としてそれなりに有名。
猫と話すのが趣味であり、神社の境内に住み着いてる野良猫と楽しそうに会話をする一姫の姿が時たま参拝客に目撃されている。
そんな一姫の楽しみは猫と戯れる事と神社の地下と敷地内に沸いている天然温泉につかる事。

前当主である母、志津絵が不慮の事故で急逝したため幼くして天御門の家を継ぎ、
かねてより協力関係であったUGNの天門市支部の支部長にも母の後を継いで就任した。
剣の腕をはじめ政治手腕など全てにおいて未熟ではあるが、今日も彼女は持ち前の責任感と使命感を小さな胸に秘め町の平和のために頑張っている。
ちなみに他に姉妹が二人おり、一姫は次女。

【天御門家とUGN】
一応、協力関係にある両者だが天御門家は世界がレネゲイトを認知する遥か太古より彼のウィルスと共に生きて来ており、
その力を神の力としてその身に宿し、世に蔓延る悪鬼羅刹魑魅魍魎と戦ってきた歴史があり独自の技術体系をも確立している事もあって、
神の力をただのウィルスとして認知するUGNの事を実際の所、快くは思っていない。
特に戦前よりこの地に生きる天御門家の重鎮達はその傾向が顕著である。
それでもこの地にUGNの支部があるのは、ひとえに前当主志津絵の手腕による所が大きく、彼女が半ば強引にこの地にUGNを招きいれたのだった。
その要が失われた今、両者の関係はこの先・・・。